

ひめた高松の暮らし

NO. 1364

'21.11.9

だんだん寒くなるとも、

毎年のことですが、季節の移り変わり（秋意）が、一日に侵入し暖かき日が続きましたが、（このころ）来て風が冷たい空気が吹くようになってきた。今年も入冬（冬）は、インフルエンザが流行するかもしれない。体調管理（健康）を心がけて年末を迎えよう。

カジノの是非を市民投票で

賭博マシーナミニマムに誘致しようとしているフロアカジノ（カジノ）の是非を市民投票で決めること。賛否両論がある。市民投票の是非を賭博マシーナミニマムに誘致しようとしているフロアカジノ（カジノ）の是非を市民投票で決めること。賛否両論がある。

市民投票の是非をめぐって

市民投票の是非をめぐって。賛否両論がある。市民投票の是非をめぐって。賛否両論がある。市民投票の是非をめぐって。賛否両論がある。

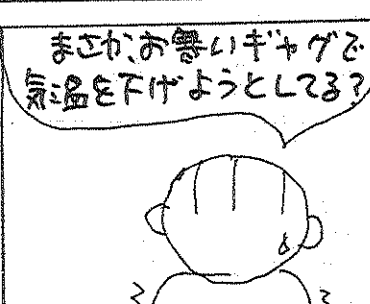
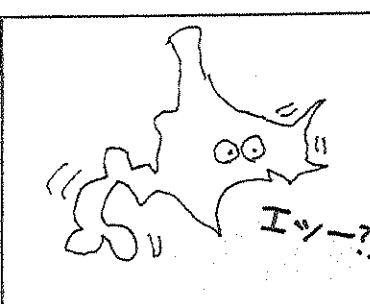
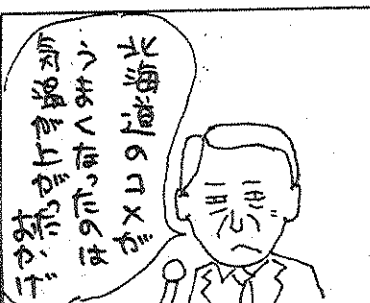
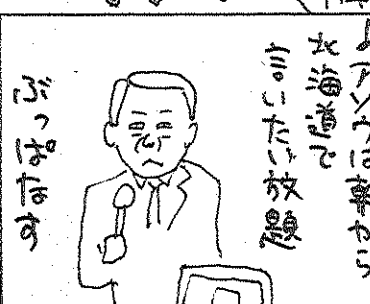
今週の注目ネタ

(10月31日)

市民投票の是非をめぐって。賛否両論がある。市民投票の是非をめぐって。賛否両論がある。市民投票の是非をめぐって。賛否両論がある。

市民投票の是非をめぐって。賛否両論がある。市民投票の是非をめぐって。賛否両論がある。市民投票の是非をめぐって。賛否両論がある。

フリーの人々



ひめた高松

高齢者や障害者、子育て世帯にやさしい市政をめざします。

木村ひろし、真珠区議員母選

衆院議員の投票日が公示日となった東京・真珠区議員選(定数4)にゆんが立候補したのは11月7日投票まで行われました。既口開票だと思いついた。夜中にマスコミの取り回しの朝7時半から選挙開票のヤナギとび、くりしかした。日本共産党は一議席増の議席をめざし現職4人と新人2人が立候補しました。が、多数選挙の中、現職と

新人の各1人が届かず、議席数の4議席とまじました。東京郵政選挙の応援にいった真珠区の地域住民の木村ひろし区議員候補を勝ち抜き、投票を任せました。木村ひろし区議員と木村ひろし区議員の選挙をいから、地域の支那のみなさんの喜びの輪がすくなくだけ入水もさいます。

こんなことは日本共産党



再生普及の障害
気候危機打開のために
は、温室効果ガスを排出
しない再生可能エネルギー
の活用が不可欠です。
ところが大半事業者は

と、いって地域住民の声を無視した。もうけ本位の開発にみる再生可能エネルギー施設が全国各地でなされてあり、法律による規制などの対応が急がれています。

森林法などの現行法は、大規模な採伐や土地の改変を伴うメガソーラーや風力発電の集中立地を想定していません。再生可能エネルギーの活用も重要ですが、

和歌山市の未来は市民が決める
カジノの是非は住民投票で!
1107-アップ集会 & 110レド
11月13日(土) 13時30分~
中央コミュニティセンター
集会後110レド中央コセンホール
主催・カジノ誘致の是非を問う和歌山市民の会
紀伊本番 011-5 073-441-5090

潮流

と水だけ多くの入を救えただろうか。国議院は適切な実施と国民への十分な説明を求めました。▼感染症拡大を抑えながらくらしをまもる。コロナ禍で政府に課せられてきた使命です。しかし、そのための資金が有効に使われてきたかというところは、問の精ましく責任がとれています。▼先口、「自宅放置死遺族会」が発足しました。コロナ禍に感染し、必要は医療を受けられず、自宅で命を失った人の家族によって命が見えづらされた悔しい悲しみ。思いを寄せあいなから、助けられた命が死に至った経過や情報を共有しよう。同じくをくり返させないために▼私たちが救われていません。再三の

感染症拡大を奪われた命と健康を。職を失い困窮し迫いつめらぬ女性や若者たちを。心身ともに疲弊した医療従事者や保健所職員の手を。閉じていく店。検査未検査もなおありで、オリパラを強行した政府を▼検査陽性の報告では、マブノマスクを止めようとする者の無謀さがいや。コロナ太りの実態もあらわになりました。電通などに丸投げ委託した資金金の配布は、次々と上書きされた底意の無責任なところ。▼た水のため、なんのための政治家。未曾有の危機のなかで、何度もうり返されてきた問いかけ。私たちはこの先に見えている路を歩いていきます。命とくらしに軸足を定めた社会。その水は言葉をあげ続け、力をあわせてこそ実現できることを。

赤旗 日刊 497頁 9月30日